

# 社説から社会を捉える

「社説を読む」ことを通して、社会の動きや他者の考えを知り、知識や考えを広げる」

1 社説記事をはろう。 年 月 日 ( ) 新聞

名前

## 社説

10年前の東日本大震災を思い出し、その余震という不安を覚えた人も多かった。福島県と宮城県南部で震度6強、本県でも弱を観測した地震が13日に起きた。幸い津波は来なかったが、本県を含む10県で150人以上が負傷し、一部区間でストップした東北新幹線の全線運転再開まで10日前後かかるといふ。大震災以降、何度も指摘されてきたが、この国は災害大国である。地震に加え台風や豪雨による水害、噴火などあらゆる自然災害がいつ起きても不思議はない。この地震への対応状況を検証し、これまでの対策を総括して次に備えなければならぬ。

### 福島、宮城震度6強

## 災害対策総点検しよう

2004年の新潟県中越地震では走行中の新幹線が脱線、16年の熊本地震でも新幹線の回送列車が脱線している。経営上の判断もあるだろうが、高速運転する新幹線の安全確保は最優先すべきだ。耐震補強を急ぐことを強く要請したい。高速道路でも大規模な土砂崩れがあった。地域を結ぶ動脈が災害に遭って人や物の動きが止まると社会と経済に与える影響は甚大だ。新幹線が止まっている間はバスや航空機が代替の役割を担う。長期の影響を避けるため、これらの交通ネットワークを整備し多重性を確保することが重要だ。

この地震では大型火力発電所が相次いで停止し、首都圏も含む広域で大規模な停電が起きた。停止の原因と今後の対応の検討が必要だ。18年の北海道地震でも大型火力発電所のトラブルで全域停電を招いている。集中的に発電し送電線を使って供給する現在の電力システムは、災害が起きたときに発電しやすく影響も大きいという脆弱性が指摘されている。パイオマや風力など地元資源を使い

指導は沿った方法で、コロナとの複発災害を避けた。避難者が少なかつたこともありうまく対応できた面もあるだろう。もっと被災者が多いケースも想定し、同様の運営ができるか検証し改善を続けるよう求めたい。

本県のような降雪地帯では、大雪などの複合的な被害が起り得る。今回の地震では力ポートの倒壊が相次いだ。建築構造が専門の三辻和弥山形大学教授は、屋根の雪の重みと地震の揺れで柱と梁の接合部に想定強度を超える力が加わった可能性を指摘している。適切な雪下ろしを行うことは建物全般に求められる。

2021年2月17日

2 記事の内容に対する自分の考えを書き、友達と交流したいことを決めよう。

☆「交流したい視点は」

）について

3 友達と考えや意見を交流しよう。

メモ

4 交流後の感想を書こう。

2021年2月17日山形新聞